

全国こどもチャレンジカップ

第8回全国大会

実施報告書



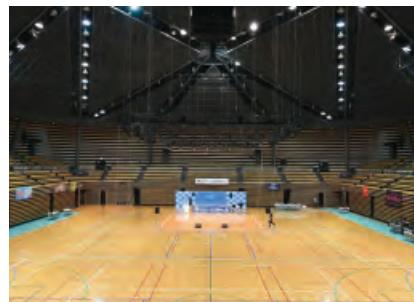
大会名称	全国こどもチャレンジカップ 第8回全国大会
開催日時	2015年7月25日(土)11:00~18:40・26日(日)9:15~17:00
開催場所	大田区総合体育館(東京都大田区東蒲田一丁目11-1)
主 催	一般社団法人日本こどもフィットネス協会 全国こどもチャレンジカップ大会運営委員会
後 援	文部科学省/東京都教育委員会/公益財団法人大田区体育協会/大田区/ 公益財団法人健康・体力づくり事業財団/公益社団法人日本フィットネス協会/ 公益社団法人日本エアロビック連盟/AFAA JAPAN/特定非営利活動法人日本Gボール協会/ 「早寝早起き朝ごはん」全国協議会/J:COM
協賛・協力	株式会社ギムニク/ベンゼネラル株式会社 AVIA & RYKA/チャコット株式会社/株式会社サンリオエンターテイメント/クリスチャンモロージャパン/株式会社東横イン/SPORTEC/有限会社MAKIスポーツ/NPO法人日本ウェーブストレッチ協会/カリフォルニア・レーズン協会/コカ・コーラライーストジャパン株式会社/ジュノエスクベーグル/株式会社プラボーグループ/株式会社東急スポーツオアシス THE☆STAGE/月刊NEXT/有限会社フィットベル/株式会社アノマリー/月刊ジャパンフィットネス/株式会社スターワークス/株式会社フォトクリエイト/株式会社ムーヴメント/株式会社中央軒煎餅/いまばりタオル遊び開発普及委員会/株式会社オリム/NAC-JAPAN NPO/株式会社THINKフィットネスゴールドジム/サンテプラス株式会社/株式会社おもちゃの店青い鳥/株式会社MWM/東京リゾート&スポーツ専門学校/横浜リゾート&スポーツ専門学校/千葉リゾート&スポーツ専門学校/横浜こども専門学校/東京未来大学/NPO法人日本トイレ研究所/一般社団法人田園調布グリーンコミュニティ/Repoll planning/一般社団法人日本フープダンス協会 (順不同 敬称略)
競技部門	<p>【チャレンジサーキット(個人の部)】※年齢は全国大会当日の年齢 ①リトル部門(2~7歳) ②ジュニア部門(8~11歳) ③ユース部門(12歳以上) ④笑顔＆元気部門(2歳以上)</p> <p>【チャレンジパフォーマンス(グループの部)】 グループ構成:3名以上15名以内 ①エアロビクス ≪1分15秒(±5秒)~45秒(±5秒)≫ ②ヒップホップ ≪1分45秒以内≫ ③アクティビティ(フリースタイルのフィット&ダンス) ≪1分45秒以内≫ ④スクールチャレンジ<1分45秒以内> ※GP大会のみで実施 ⑤ファミリーチャレンジ<1分45秒以内> ※GP大会のみで実施</p>
出場資格	<p>○2014年度に行われた各地区大会におけるチャレンジサーキット総合優勝者、エアロビクス・ヒップホップ各部門入賞選手(1~7位)及びチャレンジパフォーマンス各部門入賞チーム(1~3位) ※GP大会は1~5位</p> <p>○次点選手(地区大会で複数入賞選手が出た場合は、2つ目以降の大会の次点選手を繰り上げて選出)</p> <p>○チャレンジサーキット“笑顔＆元気”部門予選会 予選通過者</p>
出場条件	<p>【チャレンジサーキット部門(個人の部)】 ・全国大会当日の年齢に該当する年齢区分で出場</p> <p>【チャレンジパフォーマンス部門(グループの部)】 ・同じ選手が同じカテゴリーに複数の参加は不可。・入賞カテゴリーは変更不可。・チーム名の変更不可。 ・入賞時のメンバーが最低1名以上の出場が必須。グループ構成人数は3名~15名。 ・上記の条件を遵守した上で、メンバー変更及び選手の増減、エントリー曲の変更が可能。 ・事故、怪我他、緊急な事態により選手がパフォーマンス部門に参加できない場合、事前に1チームにつき2名まで補欠選手名を登録する事が可能。(補欠選手は正式選手と同時にエントリー) ※GP大会入賞チーム(1~5位)には2014年度のチャレンジサーキット出場者が1名以上いること。 ※スクール部門に出場を希望するチームでチャレンジサーキット出場対象年齢外の選手のみで構成されたチームに限り通常エントリー費に特別参加費として4,000円(税込)(サーキットエントリー費1名分相当)を追加する事で出場可能となります。 ※ファミリー部門においては特別参加費は必要ありません。</p>
エントリー費	<p>チャレンジサーキット/チャレンジパフォーマンス[1種目につき ￥5,250(税込)/1名] 2種以上の追加工エントリー[1種目につき ￥4,200(税込)/1名] チャレンジパフォーマンス補欠選手[1種目につき ￥2,100(税込)/1名] “笑顔＆元気”部門[5,250円又は3,150円(税込)]</p> <p>※チャレンジサーキットまたはチャレンジパフォーマンスへ既にエントリーされており、 2種目以降のエントリーとなる場合は3,150円</p>

実施日時	平成27年7月25日(土) 開場 11:00 開演 12:00 終演 18:40 7月26日(日) 開場 9:15 開演 10:00 終演 17:00
大会参加選手数	955名 チャレンジサーキット 455名(リトル100名、ジュニア188名、ユース167名) 笑顔&元気部門 28名 チャレンジパフォーマンス 94チーム ・ファミリーチャレンジ:3 ・スクールチャレンジ:4 ・エアロビクス:21 ・ヒップホップ:36 ・アクティビティ:30
来場者数	1日目 1,685名 2日目 1,598名 合 計 3,283名

会場:大田区総合体育館 外観



会場:大田区総合体育館 メインアリーナ



開場前



当日配布したアッセンブリー



開会式



大会会長・代表理事 ご挨拶



大田区長 ご挨拶



審査員・リード



ゲストダンサー:Beat Buddy Boi(26日:ゲストパフォーマンス)



選手宣誓 7月25日



選手宣誓 7月26日



トロフィー・表彰盾・メダル



チャレンジーサーキット

エアロビクス



ヒップホップ



アクティビティ※



握力向上プログラム

※第3期プログラム。

第2期プログラムは2015年8月27日 日本体育学会第66回大会において研究発表を行います。

チャレンジサーキット

総合優勝



中森 彩音

チャレンジサーキット

エアロビクス



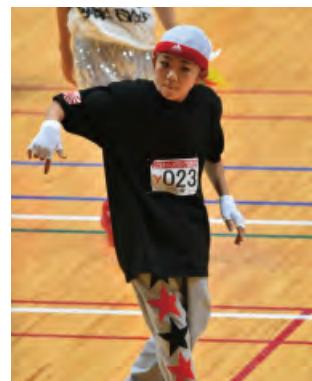
リトル 1位
時田 知歩

ジュニア 1位
中村 友紀

ユース 1位
伊藤 梨里

チャレンジサーキット

ヒップホップ



リトル 1位
田畠 瑞



ジュニア 1位
櫻谷 日南



ユース 1位
菊永 美羽

笑顔&元気部門



リトル 1位
山崎 真琴



ジュニア 1位
武田 すず



ユース 1位
高橋 調

チャレンジパフォーマンス



エアロビクス 1位
グリーンHOP SA

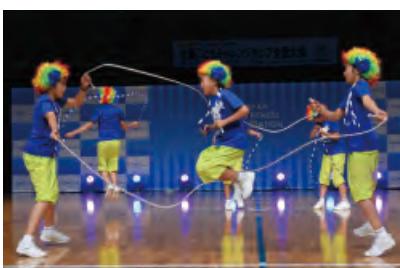
ヒップホップ 1位
THE INFINITE

アクティビティ 1位
ミラクル チアーズ



ファミリーチャレンジ 1位
MORI Villeg in Africa

スクールチャレンジ 1位
秋葉台中学校 秋中KITAKU部



審査員特別賞
miracle dancers

キッズビクス賞
SKC・HANETO隊

表彰式



総評



JKFAキッズダンサー



集合写真 7月25日



企業PR“ベンゼネラル株式会社 AVIA&RYKA”



集合写真 7月26日



出展企業



クリスチャンモロージャパン



DANCE@SHOP 株式会社アノマリー



有限会社MAKIスポーツ



ベンゼネラル株式会社 AVIA&RYKA



ジュノエスクベーグル



大田区観光課



株式会社東横イン(ポスター・プローシャ)
カリフォルニア・レーズン協会(ポスター)



カリフォルニア・レーズン協会



日本こどもフィットネス協会